

2025 年 12 月 16 日

各位

iHeart Japan 株式会社

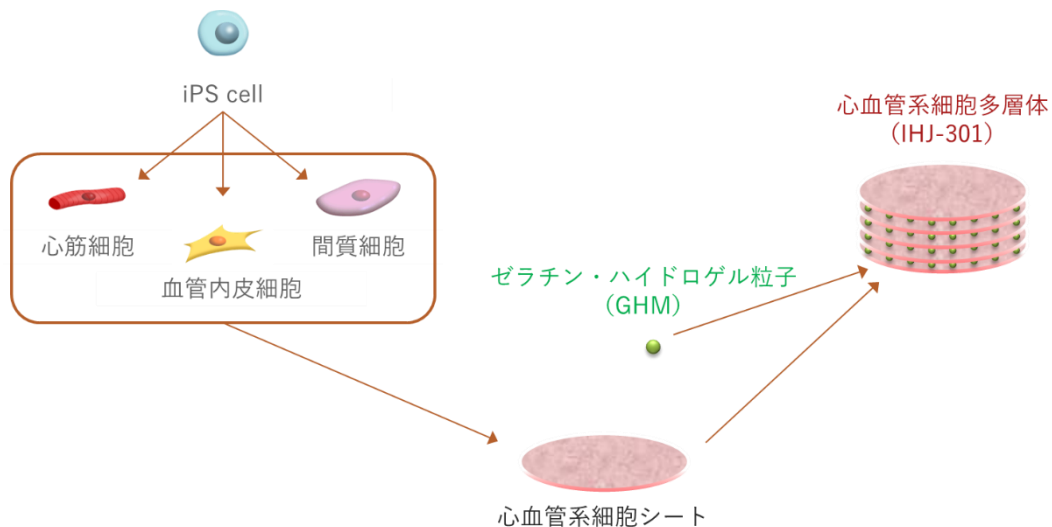
iHeart Japan 株式会社、『Well-being & Age-tech 2025 Award』において優秀賞を受賞

再生医療を“特別な治療”から“当たり前の治療”にする iHeart Japan 株式会社（本社：京都市、代表者：角田健治、以下「当社」。）は、ウェルエイジング経済フォーラム

（<https://www.wellaging-forum.org/>）が主催する「Well-being & Age-tech 2025 Award」において、優秀賞を受賞したことをお知らせいたします。

当社は、当社が開発しているヒト iPS 細胞由来心血管系細胞多層体（以下「IHJ-301」。）を拡張型心筋症の治療に用いる治験（<https://jrct.mhlw.go.jp/latest-detail/jRCT2033240447>）を行っており、今回の受賞は、当社の取り組みが健康寿命の延伸に貢献する取り組みであると高く評価されたものと受け止めております。

【IHJ-301 について】



健常ドナーの細胞から作製した iPS 細胞を出発原料とし、それから分化させた心臓や血管などの細胞の層とゼラチンハイドロゲル粒子の層から成る“細胞とバイオマテリアルのハイブリッド製品”です。ゼラチンハイドロゲル粒子の作用によって、細胞だけを貼付した場合よりも生着性が高くなり、治療効果が高くなることが動物実験によって示されています。

（ JTCVS Open. 2021 Oct 1;8:359-374. doi: 10.1016/j.xjon.2021.09.038. ）

【拡張型心筋症について】

拡張型心筋症（DCM: Dilated Cardiomyopathy）は、心臓の筋肉が薄くなり、心臓の内腔が大きくなることを特徴とする疾患で、国内の患者数は2万人前後と推計されている希少疾患です。遺伝子変異やウイルス感染などとの関連性が指摘されているものもありますが、多くの場合は原

因不明で、心臓移植以外に根治的な治療方法がありません。心臓移植には、ドナー不足、待機時間の長さ（平均で約 5 年）などの大きな課題があり、新たな治療法の開発が求められています。

【iHeart Japan 株式会社（ <http://www.iheartjapan.jp> ）について】

2013 年に設立されて以来、再生医療を実現し、心臓移植をしなくても良い社会を作ることを目指して、IHJ-301 の開発などに取り組んでいます。IHJ-301 の開発に関し、iPS 細胞から心筋細胞や血管内皮細胞などに分化させる分化制御技術、ゼラチンハイドロゲル粒子を応用して細胞が壊死することなく多層構造を持たせることができる積層技術などをもち、それらについて権利範囲が広くて事業に有効な特許を主要国で得ています。2021 年には経済産業省の『J-Startup』に選定されました。

【問い合わせ先】

info@iheartjapan.jp

iHeart Japan 株式会社 事業部 広報担当